

Transistor Radio TR-55



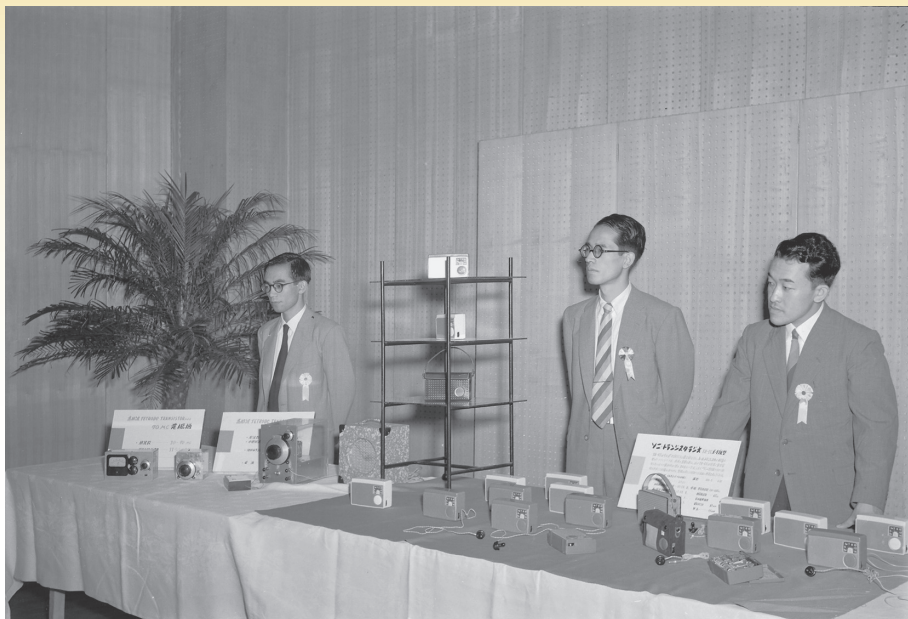
①

エレクトロニクスの世界に革命をもたらしたトランジスタが米国・ベル研究所で発明されたのは1948年です。その当時、身近な娯楽を提供していたラジオは未だ真空管全盛の時代でした。

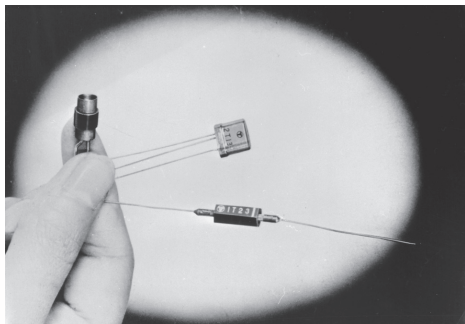
1952年、東京通信工業(株) (俗称：東通工／ソニー(株)の前身) は、米国ウェスタンエレクトリック社がトランジスタの特許を公開するという情報を知り、「自社製のトランジスタでラジオを作る」という目標に社運を賭けて挑戦しました。当時のトランジスタは、民生用に利用できるとしても補聴器程度にしか使えない低い周波数のものしか作られていませんでした。トランジスタでラジオを作るなど無謀であるという意見が圧倒的であった中、東通工は数々の難題を乗り越え、1954年に日本初の高周波トランジスタ（PNPアロイ形トランジスタ）の試作に成功し、トランジスタラジオを試作しました。そして1955年（昭和30年）9月、SONYのマークをつけた日本初のトランジスタラジオ「TR-55」の本格的な製造・販売を開始しました。自社製トランジスタでラジオを作ったのは、東通工が世界初です。

このトランジスタラジオ「TR-55」の出現は、それまで据え置き形だったラジオを何時でも、何処へでも自由に持ち運びができるポータブルなラジオへと生まれ変わらせ、日本のみならず世界の人々のライフスタイルを変えると共に新しい文化を生み出し、日本の電気技術を世界に知らしめることとなりました。

- ☆顕彰先 : ソニー株式会社
- ☆展示場所 : ソニー歴史資料館
〒141-0001 東京都品川区北品川6-6-39
- ☆ホームページ : <http://www.sony.co.jp/museum/>
- ☆アクセス(最寄駅) : JR 品川駅 徒歩 15分



②



③



東京通信工業株式会社

TR-55型 ツニ・トランジスタラジオ

回路方式	5石トランジスタ スーパーヘテロダイナミック増幅回路	1個
	2 T51	2個
	2 T52	2個
	2 T22 (自動利得制御)	2個
	2 T53 (又へ2 T61)	1個
	2 T12	1個
	2.5 時 ダイナミック スピーカー	1個
	(レシーバー ジャック付)	
電源	(自蔵) 単三型 (LM-3) 4個	6 V
電圧	幅 141mm 高 89mm 厚 38.5mm	
重量	約 560g	
定格	受信周波数	535~1605kc.
	中間周波数	455kc.
	実用電圧感度	1~2 mV / m
	電圧出力最大	20 mW
	無歪出力最大	10 mW (歪率10%)
	選択度 (雑音10kcの減衰)	約15DB
付属品	小型左耳受話器	

発売元 製造元
東通工商事株式会社 東京通信工業株式会社
東京 大阪 福岡 広島 仙台 名古屋

(写真提供：ソニー株式会社)

- ① トランジスタラジオ「TR-55」
- ② 「TR-55」をはじめとするトランジスタ製品の発表会 (1955年7月)
- ③ 「TR-55」を世に出した東通工製トランジスタとダイオード
- ④ 「TR-55」発売当時のカタログ

④